

## 県政報告会(長岡地区)の報告

平成27年11月25日(水)、長岡区民館において、県政報告会を開催しました。皆さんの関心が高い江間地区の中央道フルインター工事の進捗状況や、順天堂大学病院のドクターヘリなどの問題について、初めてプロジェクターを利用して説明を行いました。多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回は、地区の話題を絞って報告会を実施しました。事業の進捗状況に時間的な誤差が生じてしまい、最新のお知らせができない部分もあったので、まだまだ工夫が必要であると感じています。

これからも、様々な場所で報告会を実施していくつもりです。少人数でもお声を掛けていただければ、報告に出かけていきますので、よろしくお願い致します。葦山地区、大仁地区でも順次実施していきます。



### 一般質問のご案内

県議会において、質問を行う為登壇できるのは、1年に1回と決まっています。平成27年度は、6月に代表質問を行いましたので、本来であれば順番が回ってこないのですが、他の議員の枠を譲ってもらうことができましたので、平成28年2月議会で一般質問を行うことになりました。今回は、東部や伊豆地域に限定した課題について質問します。

内容は、オリンピックに関する整備等、沼津特別支援学校の支援、狩野川流域の整備対策等を含め、6項目程度を考えています。

日時につきましては、**3月3日午前10時30分より**行いますので、興味のある方は傍聴ツアーにご参加ください。またインターネットで生放送もされます。詳しい内容は、ホームページ、メルマガでご案内させていただきます。

静岡県議会のホームページ([www.pref.shizuoka.jp/gikai/](http://www.pref.shizuoka.jp/gikai/))から本議会の録画映像をご覧になれます。

おしえて、もとよしさん!

「ベロドローム」ってなんですか？

「ベロドローム」ってちょっと言いにくい名前ですが、ベロはフランス語で自転車。つまり自転車競技場という意味だそうです。どこにあるのかって？ サイクルスポーツセンターの中！新しく建てられた建物ですよ。



静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

# もっとよし！レポート。



発行者: 土屋もとよし 発行日: 平成28年2月8日  
〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL.055-948-9635-055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし 県政報告 Vol.10

## 皆さまこんにちは！ 土屋もとよしです。

昨年中は、大変お世話になりました。  
本年もどうぞよろしくお願い致します。

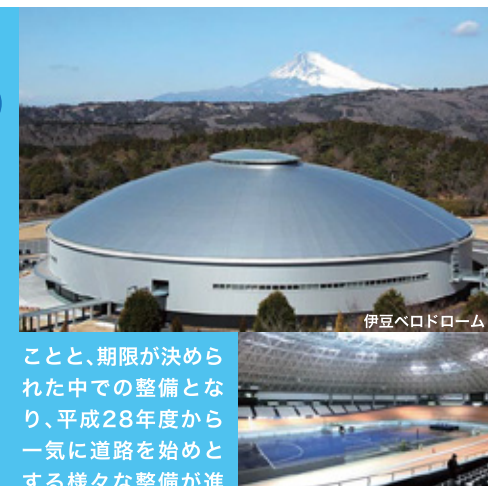


昨年を振り返ってみると、4月の選挙後、6月議会において自民改革会議の代表質問を行いました。9月議会(9/18~10/15)、決算特別委員会(10/28~11/6)、そして12月議会(12/1~12/21)と議会が開催され、あっという間の8か月でした。その他にも、大規模スポーツイベント対策特別委員会や新条例制定の準備、様々な地域や各種団体の要望、陳情等の対応など、議員としての役割や責任の重さが格段に大きくなってきたと感じています。地元にいる機会が少なくなっている今、遠くの県会議員とならないよう、より一層気を引き締めて、情報の収集や地域の声に耳を傾けて、しっかり活動していこうと思っています。

## 地元開催 オリンピック パラリンピック 決定!!

昨年の暮れに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技会場に伊豆市の伊豆ベロドロームが正式に決定しました。2020年7月30日から8月6日までがトラック競技、8月8、9日にマウンテンバイク競技が開催されます。決定後、東京オリンピック組織委員会の森喜朗会長に挨拶に伺いました。「失敗は絶対許されない世界の祭典だから、準備を怠ることなく万全の態勢で選手や応援に来る世界の人達を迎えるように」と叱咤激励されました。

まさに、伊豆半島、伊豆地域にとって、これほどのチャンスはありません。オリンピックとなれば、国や県の全面的なバックアップが望める



伊豆ベロドローム

ことと、期限が決められた中での整備となり、平成28年度から一気に道路を始めとする様々な整備が進められることでしょう。この機会を逃すことなく、仕事を確実に推進する役目を私なりに自覚して、少しでも魅力のある地域にしていく努力をして参ります。

これからも、皆さまの温かいご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

## 土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1  
TEL.055-948-9635-055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし

検索

URL [www.tsuchiya-m.com](http://www.tsuchiya-m.com)

「もっとよし!!」  
を合い言葉に!!



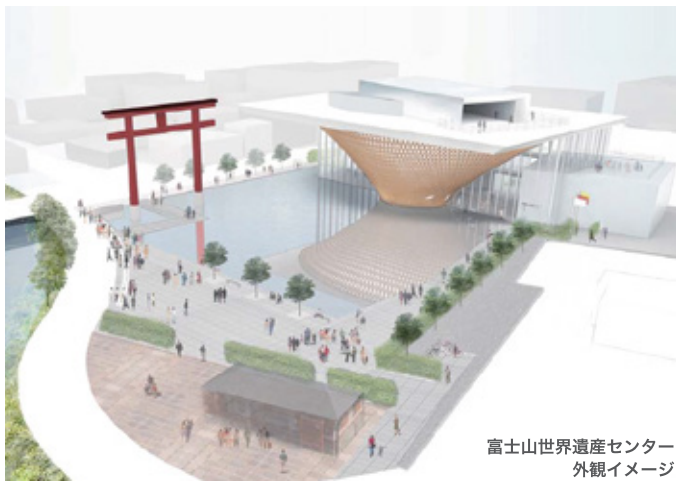
メルマガ会員を募集しております。携帯の方は左記のQRコードを読み込み、[moto@67865.r.at-ml.jp](mailto:moto@67865.r.at-ml.jp) まで空メールをお送りください。パソコンの方は[moto@tsuchiya-m.com](mailto:moto@tsuchiya-m.com)まで「メール会員希望」とご連絡ください。





12月議会では、新聞等を賑わした「富士山世界遺産センター」の補正予算案が可決されました。当初予算より3億8千万円を追加する内容でしたが、外観イメージにあるように、逆さ富士の形をした施設の工事費が想定以上に膨らみ、

この取り扱いが議論となりました。結局、施設の面積を縮減し、事業費の圧縮をしても金額が増加するというで納得のいく説明が得られず、諸手を挙げての賛成ではありませんでした。しかし、2月1日までにユネスコに提出する保全状況報



富士山世界遺産センター  
外観イメージ

9月議会に続き、12月議会でも「自転車を活用した交流促進・メッカ」について質問がありました。

川勝知事は答弁で、「静岡県下、あらゆるところで、自転車を楽しむ文化があります。私は、静岡県はサイクリングのメッカになり得ると。そして、そのメッカになるための贈り物が、オリンピック委員会から届いた、ベロドロームを中心としたトラック競技とマウンテンバイク競技であると捉えています。

国内外のサイクリストに継続的に本県を訪れていただくためには、長い距離を安全に心地よいスピードで走れるコース設定と走行環境を創出するとともに、地域の特産品でもてなすなど受け入れの体制をつくって、ツーリズムに結び付けていくことが必要です。

県としては、海外との交流の成果を県内各地に普及するとともに

に、多くの地域が積極的に魅力あるサイクルスポットを発掘して頂きたい。そのために県もお手伝いをさせて頂きたいと存じます。そうした中で、走行環境や受け入れ体制を整え、サイクリング大会等の開催を通じてサイクリストを呼び込むことができるよう支援していくことで、国内外から評価される自転車文化日本一のサイクリングのメッカを目指しているところではないかと話されました。

私も、同じ思いではありますが、伊豆地域の機運の盛り上がりが見えるところです。もちろんオリンピックの時は、お客様や応援団が駆けつけてくれるでしょうし、マスコミも取り上げてくれることでしょう。世界中に「伊豆・ベロド



1月に行われたアジア選手権

告書に完成時期の記載ができないことなどを理由に認めざるを得ないと判断しました。

そもその発端は、オリンピック用施設の新旧立競技場の予算の大幅な増加が大きな話題となり、県民の意識が高まる中で「富士山世界遺産センター」が同様に捉えられたことです。今までは、このような事業費の増加は、議会に対して説明責任を果たせば、大きな問題にはなりませんでしたが、議会としても良い機会になったと思います。

行政側は、今回の反省を踏まえ、富士山静岡空港増築の事業費増加など、設計変更をして納得のいく事業費の予算案を提示し、今まで以上に厳しい審査・調査を行うようになりました。

ローム」の名前が知れ渡ることになるとありますが、それまでに、自転車の愛好家に魅力ある地域になっていなければなりません。オリンピックを絶好の機会と捉え、地域が一丸となって環境づくりに取り組む必要があると思います。オリンピック後に、「伊豆の観光振興」の一つのアイテムに育て上げましょう。

県立がんセンターの医療の充実について質問がありました。

昨年、がんセンターを利用した人は、入院患者は19万5千人、外来患者は29万9千人と多くの患者さんが治療を受けており、更なる医療の充実に期待がかかっています。特に、高齢化の進展や、医療技術の変化等に伴い、患者やその家族が、がんに対して抱く悩みや負担が変化しており、適切に対応する一つの対策として、「患者家族支援センター」の機能を充実させています。

「患者家族支援センター」は、高齢患者の手術の際、入院前から栄養指導やリハビリテーションを行い、退院後の在宅生活の相談に応じる体制を整備するなど、安心して治療を受けられる支援を実施しています。

また、がんの種類によっては手術に匹敵する治療効果が得られる放

射線治療があり、放射線と陽子線の連携照射による新たな治療法の開発に努めています。

さらに、現在、前立腺、胃、大腸などの手術を実施している手術支援ロボット「ダヴィンチ」治療では、呼吸器、婦人科領域への適応拡大を目指しています。

この様な取り組みを重ね、患者・家族の視点を重視した医療の充実

に努めています。今回、この質問と答弁を紹介したのは、近くにある県立がんセンターでありながら、あまり馴染みのない



手術支援ロボット

場所に感じている方も多いと思うからです。

私は、さらに多くの患者さんが、ガンの克服の為に活用できる場になってほしいと願っています。

とはいえ、早期発見・早期治療が一番です。まずは、定期健康診断をしっかりと受けましょう。

## 視察のまとめと今後の展望

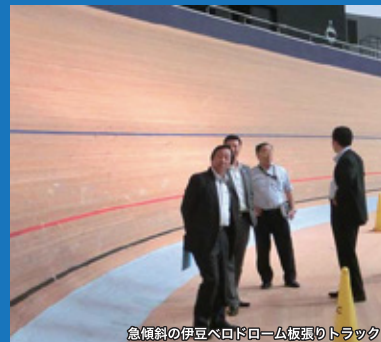
今年度は、政務調査会を始め、大規模スポーツイベント対策特別委員会、建設委員会や議員有志など、様々なテーマを調査研究するために視察を行いました。県下全域を要望調査で廻り、先進地の視察に出かけました。視察先を自分の目で見て確認し、担当者に疑問や意見を直接聞くことは、非常に価値のあることだと感じています。

今後の予定では、原発調査に六ヶ所村や女川町、DC（ディスティネーション・キャンペーン）の先進地である仙台への視察を計画しています。視察が少しでも地域や県の事業に役立つよう、しっかりと研修したいと思っています。

### 大規模スポーツイベント視察について

1 常設の屋内木製走路である伊豆ベロドロームとサイクルスポーツセンター内のMTB（マウンテンバイク競技）コースの概要説明を受けました。

2 国際的なロードレースであるサイクルスポーツの祭典「ツール・ド・おきなわ」大会の取り組みについて、NPO法人（ツール・ド・おきなわ協会）と周辺市町村の連携等について視察しました。



急傾斜の伊豆ベロドローム板張りトラック



沖縄の建設会社視察



漢那ダム視察